

### イラクやアフガニスタンで 自衛隊員も危険な状況に！

(一般質問の続き)イラクなどで多国籍軍を輸送した航空自衛隊員もミサイルでひんぱんに狙われました。

私は「自衛隊員や若者を戦場におくるべきではない。法案を廃案にすべきではないか」と質しました。

田中市長は「法案審議を慎重にすべき」と答えました。



### オスプレイの夜間や超低空での訓練中止の要請を！

防衛省が提供したオスプレイ横田基地配備のパンフで「日米合意」を守るので安全だと主張しているが、その内容は何か、と質しました。

田中市長は「内容はよく把握していないが、たとえばヘリモードは基地上空のみとされており、それは守られている」と実態と違う答えでした。

私は「日米合意で夜10時から朝6時までの飛行は禁止とされているが守られていない、超低空飛行なども認めるのか」と再度質しました。

田中市長は「夜間や超低空飛行訓練はすべきではない」と答えました。

子どもたちのために「戦争法案」を  
みんなで廃案にしましょう

義援金募金・ご意見、赤旗購読を  
申し込みは 石田よしおへ  
電話 2964-4048 携帯070-5086-2075



### オスプレイの配備と事故により、 市民に不安が増大！

ハワイのオスプレイ事故を受け、横田基地配備への市民の不安が大きくなっています。

私は「災害訓練で火事を起こすなどオスプレイは災害にも役に立たない、墜落事故の原因と対応の具体的な内容は何か」と質しました。

田中市長は「市民はオスプレイに対する不安を抱えているので今後追求していく」と答えました。

## 憲法違反の「戦争法案」とオスプレイの飛行・横田基地配備に反対を！

暑い夏を迎えましたが、元気でお過ごしでしょうか。日本を再び戦争をする国に変えていく「戦争法案」が、国会で重要な段階を迎えています。

戦場に兵士を運ぶのを主たる任務とするオスプレイが、入間市の空を飛び始めました。今回の一般質問は、この二つの課題を取り上げました。

### 侵略戦争であったと認識！

アジアの人たち2000万人、日本人310万人の犠牲の上に平和憲法ができました。私は、日本国憲法と第9条、および侵略戦争に対する見解を質しました。田中市長は「侵略戦争であった、いかなる戦争も起こしてはならない」との基本認識を示しました。

### アメリカの戦争に参加、憲法違反の戦争法案は廃案に！

戦争法案は、アメリカが世界で行う戦争に、いつでもどこでもどんな戦争でも自衛隊が支援・参加するものです。



訓練中の自衛隊員  
(写真は防衛省ホームページより)

私は、ほとんどの憲法学者が法案を違憲と判断しているように、立憲主義の破壊であり、許されない法案であると主張し、見解を求めました。

田中市長も「法案への国民理解が進んでない、十分な審議が必要であり、憲法違反の法案は許されない」と答えました。(4ページに続く)



日本共産党カクサンブ「夏期のほーづ」さん

日本共産党入間市議会議員

## 石田よしお市議会報告

(2015年7月号) 入間市上藤沢688-8

電話・fax 2964-4048 携帯070-5086-2075

ホームページ:「日本共産党入間市議団から石田よしお」へ



# 東町留保地は緩衝緑地と公園に 第2回定例議会

## 「戦争法案」先取りの「基地拡大」は許さない

防衛省は、中期防衛力整備計画に基づき東町側留保地(28ha)に「災害対処拠点施設と自衛隊病院」の整備を入間市に打診。

留保地利用の優先権を持つ入間市は、「緩衝緑地保全と憩いの公園」整備の計画を平成20年、財務省に提示しています。

### 説明不足・十分議論尽くすべき

5月29・30日の市民説明会では、「市民への説明不足。防衛省の利用計画と入間市の利用計画は合致しない。貴重な緑地は保全を。災害の名による基地の拡大・強化だ」など、反対の声が大多数でした。

### 災害拠点に名を借りた基地拡大

防衛省の要請を受け入れると、市街地に残る貴重な緑地帯は伐採され訓練場に。「災害拠点施設」は入間基地の管理下に移され、日常的な訓練場になります。利用内容には「各種事態・防衛力の役割に継ぎ目なく対応するための防衛力強化の訓練施設」と示されています。「災害拠点」に名を借りた基地の拡大・強化そのものです。

「災害」となれば今後「オスプレイ」の飛来も想定され、東町小・中学校や公共施設が並ぶこの地域への影響は大きく、東町

や周辺地域住民が、更なる環境悪化や騒音被害の拡大に苦しむことは明らかです。

### 市の計画は「市負担ゼロ」で実現

入間市は、平成20年の計画通り「緩衝緑地保全とスポーツ公園等」の整備に取り組むべきです。昭島市は市負担ゼロで整備しており参考になります。安倍内閣がす

すめる「戦争法案」先取りの「基地の拡大強化」に共産党は反対です。



### 「戦争する国づくり」と一体の「自衛隊病院」

「自衛隊病院」は、第一線で負傷した隊員を治療後現地に戻し、重症隊員を最終後送病院(自衛隊中央病院)へと送る「後送態勢」の一環となる「後送病院」です。

自衛隊衛生の本質は、有事に備えた「人的戦闘力の保持・増進」であり、戦時医療を担うのが自衛隊病院の役割です。

田中市長は、「自衛隊病院には、二次救急の受け入れを要請し、地域医療に貢献してもらおう」と説明しますが、配属の小児科医師は1人のみ。周産期医療を担う医師はゼロ。小児二次救急や周産期医

療の受け入れはできません。二次救急の受け入れも「自衛隊病院の支障をきたさない範囲」の制限つきです。自衛隊病院は、地域医療を担う病院ではありません。

入間市の判断前に「災害拠点施設と自衛隊病院」の国庫予算が27年度計上です。

安倍内閣がすすめる「戦争する国づくり」のための自衛隊病院は平和を願う市民が認めません。



### 市民から批判が相次ぐ

市民から市に寄せられた意見を紹介します。○市民の意見を聞く前に「市の考え」で市が防衛省からの申し入れを受け入れる考えを示すのはおかしい○防衛省の計画は市の計画とは合致していない○戦争法との関係を見ると自衛隊が海外へ出ていくための病院ではないか○住民投票に値する大きな問題○災害対処に名を借りた基地拡張は戦争に直結する○環境アセスを行うべき。

市は市民の声を受け止め、防衛省からの申し入れを拒否すべきです。

### 核兵器廃絶とオスプレイの決議

入間市議会は、終戦・被爆70周年にあたり戦没者・原爆死没者を含むすべての戦争被害者に哀悼の意を表するとともに、「ヒロシマ・ナガサキ」の願いである核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて、全力を尽くす決意を表明する決議を行いました。

オスプレイ横田基地配備の発表と飛行を受け、市民の不安が増大しています。情報提供並びに説明が国の責任において適切になされるまでの間、配備及び飛行を見合わせるよう強く求める等のCV-22オスプレイの米軍横田基地への配備に対する決議も行いました。

### 危険なマイナンバー推進に反対

全ての国民に12桁の番号をつけ、国が、所得・資産の掌握、徴税強化、社会保障費の過度の抑制を可能にするマイナンバー制度。10月通知、1月実施をふくむ補正予算に共産党は反対しました。年金機構から個人情報が出たのと同様に、情報保護は、不可能な状態です。導入している諸外国では、この制度の廃止を決めた国もあります。

### 日本共産党市議会報告

2015年7月 発行/日本共産党入間市議会  
連絡先/電話・Fax2932-2840

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883